



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

コンピュータが、ネットワークを介して行われるネットオークションにおいて、出品されている商品に対して自動で入札を行うオークション方法であって、

前記コンピュータは、

予め複数の商品を登録し該商品間の所定の関係を設定した商品グループ設定テーブルを参照して、登録されている 1 の商品に対して入札を行う入札ステップと、

前記入札した 1 の商品について、落札成功か否かの判定を行う判定ステップと、

前記落札成功か否かの判定の結果に基づいて、入札を終了するか、若しくは前記商品グループ設定テーブルを参照して、前記商品と所定の関係にある商品に対して入札を行う次動作ステップと

を実行することを特徴とするオークション方法。

**【請求項 2】**

前記商品グループ設定テーブルに登録されている複数の商品には、優先順位が設定されており、

前記次動作ステップにおいて、落札成功ならば入札を終了し、落札成功でなければ前記 1 の商品の次に高い優先順位が設定されている商品に対して入札を行うこと

を特徴とする請求項 1 記載のオークション方法。

**【請求項 3】**

前記商品グループ設定テーブルに登録されている複数の商品には、該商品に対する入札を行う条件となる落札の対象商品を示す被従属商品が設定されており、

前記次動作ステップにおいて、落札成功でなければ入札を終了し、落札成功ならば前記商品グループ設定テーブルにおいて、前記 1 の商品を前記被従属商品に設定している他の商品に対して入札を行うこと

を特徴とする請求項 1 記載のオークション方法。

**【請求項 4】**

コンピュータに、ネットワークを介して行われるネットオークションにおいて、出品されている商品に対して自動で入札を行わせるためのプログラムであって、

コンピュータに、

予め複数の商品を登録し該商品間の所定の関係を設定した商品グループ設定テーブルを参照して、登録されている 1 の商品に対して入札を行う入札機能と、

前記入札した 1 の商品について、落札成功か否かの判定を行う判定機能と、

前記落札成功か否かの判定の結果に基づいて、前記商品グループ設定テーブルを参照して、前記商品と所定の関係にある商品に対して入札を行う次動作機能と

を機能させるためのオークションプログラム。

**【請求項 5】**

ネットワークを介して行われるネットオークションにおいて、出品されている商品に対して自動で入札を行う装置であって、

複数の商品を登録し該商品間の所定の関係を設定した商品グループ設定テーブルと、

前記商品グループ設定テーブルを参照して、登録されている 1 の商品に対して入札を行う入札手段と、

前記入札した 1 の商品について、落札成功か否かの判定を行う判定手段と、

前記落札成功か否かの判定の結果に基づいて、前記商品グループ設定テーブルを参照して、前記商品と所定の関係にある商品に対して入札を行う次動作手段と

を備えることを特徴とするオークション装置。

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、コンピュータが、ネットワークを介して行われるネットオークションにおい

10

20

30

40

50

て、出品されている商品に対して自動で入札を行うオークション方法、オークションプログラム及びオークション装置に関する。

【背景技術】

【0002】

インターネットを介した、いわゆるネットオークションにおいて、商品の購入を望むユーザは、出品されている商品を閲覧、若しくは検索等を行うことにより所望の商品が出品されていることを発見すると、金額を設定し所定の操作を行うことにより、当該商品に対して入札するというのが一般的な形態である。かかる一般的な入札の形態のみでは、ユーザは当該商品の入札状況を逐一監視していなければならない、ユーザの負担が大きなものになることがあった。かかる負担を軽減する方法として、入札時に、ユーザが当該商品に対して支払うことができると考える上限額を設定し、当該上限額までは、入札額が更新されても自動的に再入札を行う方法が知られている。

10

【0003】

また、特許文献1には、最高入札金額が更新された場合にユーザにメールが通知され、さらに再入札をサポートするための手段を備えるシステムが記載されている。

【特許文献1】特開2002-83170号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかし、上記した公知の技術はいずれも単一の商品に対して入札する場合のユーザの負担を軽減するに留まるものである。

20

例えば、複数の所望の商品と同種の商品が出品されている場合においては、ユーザは、それら同種の商品の入札状況を逐一監視し、さらには、落札できる可能性を高めるために、2以上のそれら同種の商品に対して入札を行う場合がある。かかる場合に上記した公知の技術によれば、ユーザの負担は大きなものとならざるを得ず、さらには、2以上の同種の商品は不要であるにもかかわらず、複数の商品を落札してしまう可能性さえある。

また、例えばビデオカメラとそれに用いるバッテリーのように、組み合わせる関係にあり、一方の商品が入手できて初めて他方の商品が必要になるような複数の商品に入札をする場合においては、ビデオカメラの落札が確定した後にバッテリーに入札しなければならない。かかる場合においても、1の商品の落札の可否を監視しつつ、他の商品に対する入札作業を行わなければならない、ユーザの負担は大きかった。

30

そこで、本発明は、かかるユーザの負担を軽減するために、複数の商品に対して自動的な入札を行うための手段を備えたオークション方法を提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本発明のオークション方法は、コンピュータによりネットワークを介して行われるネットオークションにおいて、出品されている商品に対して自動で入札を行うためのものであって、予め複数の商品を登録し該商品間の所定の関係を設定した商品グループ設定テーブルを参照して、登録されている1の商品に対して入札を行う入札ステップと、前記入札した1の商品について、落札成功か否かの判定を行う判定ステップと、前記落札成功か否かの判定の結果に基づいて、入札を終了するか、若しくは前記商品グループ設定テーブルを参照して、前記商品と所定の関係にある商品に対して入札を行う次動作ステップとにより、実現されるものである。

40

【0006】

また、本発明は、所望の1の商品に対する落札の可能性を高めるべく、オークションに出品されている複数の同種の商品に入札をしようとする場合には、前記商品グループ設定テーブルに前記複数の同種の商品を登録し、該複数の商品には、優先順位が設定されており、前記次動作ステップにおいては、落札成功ならば入札を終了し、落札成功でなければ前記1の商品の次に高い優先順位が設定されている商品に対して入札を行うことを特徴とするものである。

50

## 【 0 0 0 7 】

さらに、本発明は、例えば組み合わせて使用するような複数の商品に対する入札を望む場合には、該複数の商品を前記商品グループ設定テーブルに登録し、登録の際には入札を行う条件となる落札の対象商品を示す被従属商品が設定され、前記次動作ステップにおいて、落札成功でなければ入札を終了し、落札成功ならば前記商品グループ設定テーブルにおいて、前記 1 の商品を前記被従属商品に設定している他の商品に対して入札を行うことを特徴とするものである。

## 【 発明の効果 】

## 【 0 0 0 8 】

以上説明したように、本発明によれば、複数の商品のオークションの入札状況を監視し続けることを必要とせず、ある 1 つの商品のオークションの結果によって、他の商品に対して適切な入札を行うことが可能となるため、ユーザは所望の商品若しくは複数の商品を落札するための負担が軽減することができる。特に、同種の複数の商品に対して優先順位を設定して、1 の商品に対する落札が成功しなければ次順位の商品に対して自動的に入札を行う方法によれば、所望の 1 の商品に対する落札の可能性を、オークション状況の監視の負担が増えることなく、高めることができる。さらに、入札を行う条件となる落札の対象商品を示す従属関係を設定して、ある商品の落札に成功した場合に、該商品の落札を入札の条件として設定している他の商品の入札を自動的に行えるため、組み合わせて使用するような複数の商品に対して、オークション状況の監視の負担を増やすことなく、適切に入札することが可能となる。

## 【 発明を実施するための最良の形態 】

## 【 0 0 0 9 】

本発明の実施の形態について図面により説明する。

## 【 0 0 1 0 】

図 1 に本発明の構成の 1 例を示す。図 1 に示される実施例は、サーバ 1 0 とユーザ端末 1 1 とがネットワーク 1 3 を介して接続される構成から成るものである。

## 【 0 0 1 1 】

ユーザ端末 1 1 は、送受信プログラム 1 2 を備えている。この送受信プログラム 1 2 は、電子メールを送受信するためのいわゆるメーラープログラムや、ネットワークを介して受信した情報を表示するためのブラウザプログラム等により構成されるものである。なお、図 1 の例では 3 台のユーザ端末が図示されているが、この数量に限られるものではない。

## 【 0 0 1 2 】

サーバ 1 0 には、ネットワークを介したいわゆるネットオークションを行うためのネットオークションシステム 1 4 が構成されており、ネットオークションを実現するためのオークション管理プログラム 1 5、商品グループ入札プログラム 1 6、商品 DB 2 0、商品グループ設定テーブル 1 7 を備えている。

## 【 0 0 1 3 】

オークション管理プログラム 1 5 は、本発明における特徴を構成するものではないため詳細は示さないが、サーバ 1 0 において、いわゆるネットオークションを実現させるためのプログラムである。

## 【 0 0 1 4 】

商品 DB 2 0 は、ネットオークションに出品されているすべての商品に関する情報を各種の属性情報とともに記憶しているデータベースである。

## 【 0 0 1 5 】

商品グループ入札プログラム 1 6 は、本発明における特徴の中心を構成するものであり、後述するような、複数の商品に対する適切な入札を行うためのものである。

## 【 0 0 1 6 】

商品グループ設定テーブル 1 7 は、商品グループ入札プログラム 1 6 により管理、利用されるものであり、入札を希望する複数の商品を記憶し、併せて商品間の優先順位若しく

10

20

30

40

50

は従属関係を記憶するものである。商品グループ設定テーブル１７としては、さらに、同一商品グループ設定テーブル３０、関連商品グループ設定テーブル４０、複合商品グループ設定テーブル５０を備える。なお、図１の例では、商品グループ設定テーブル１７として３種類のテーブルを備える構成となっているが、必ずしも３種類のすべてのテーブルを備えるものでなく、必要に応じて１乃至３種類のテーブルを備えるものである。

【００１７】

次に図２乃至図５により、本発明にかかるオークション装置が備えるデータベース及びテーブルについて説明する。

【００１８】

図２に商品ＤＢ２０の例を示す。商品ＤＢ２０では、商品ＩＤ２１、商品名２２、入札額２３、終了時刻２４及び最高額入札者２５が対応付けられて記憶されている。 10

【００１９】

商品ＩＤ２１は、登録された商品ごとに割り当てられた固有の識別子であり、サーバ１０に構成されるネットオークションシステム上で行われる処理においては、商品ＩＤ２１が商品の識別に用いられる。

【００２０】

商品名２２は、ネットオークションに出品されている商品の名称を文字列として記憶するものであり、通常はその商品の出品者により設定されるものである。

【００２１】

入札額２３は、当該商品の出品者が設定したオークション開始額若しくはオークションの開催中においてはその時点における最高入札額が記憶されている。 20

【００２２】

終了時刻２４は、出品されている商品ごとのオークションの終了時刻を記憶しているものである。

【００２３】

最高額入札者２５には、オークションが開催中であればその時点における最高額を入札している入札者の名称若しくはユーザＩＤのごとく識別子が記憶されている。オークションの開催前、あるいは入札者が現れていない場合には、最高額入札者２５には何も記憶されない。

【００２４】

図３に同一商品グループ設定テーブル３０の例を示す。ユーザは、落札を望む商品がある場合に、落札の可能性を高めるために同種あるいは類似の複数の商品に対して入札を希望することがある。かかる場合に、それら複数の商品について、優先順位を対応付けて登録するためのテーブルである。同一商品グループ設定テーブル３０には、商品ＩＤ３１、商品名３２、入札額３３、終了時刻３４、優先順位又は優先条件３５及び入札上限額３６が記憶されている。同一商品グループ設定テーブル３０への商品の登録についての詳細は後述するが、ユーザは、出品されている商品、即ち商品ＤＢ２０に登録されている商品の中から所望の商品を探すべく検索等を行い、検索結果の中から商品を選択し、所定の操作をすることにより、同一商品グループ設定テーブル３０に当該商品が登録されるものである。 30 40

【００２５】

商品ＩＤ３１は、商品ごとに割り当てられた固有の識別子が記憶されている。商品名３２は登録した商品の名称が記憶されている。入札額３３にはその商品のオークション開始額若しくはオークションの開催中であればその時点における最高入札額が記憶される。終了時刻３４は、その商品のオークションの終了時刻を記憶している。以上の商品ＩＤ３１、商品名３２、入札額３３及び終了時刻３４については、商品ＤＢ２０に登録されていた時点で記憶されていたものが、同一商品グループ設定テーブル３０においても、そのまま用いられる。即ち、ユーザが、ある商品について、同一商品グループ設定テーブル３０への登録を行うと、商品ＤＢ２０において記憶されていたデータがコピーされるのである。

【００２６】

優先順位又は優先条件 35 には、登録した商品への入札の優先順位又は優先条件を、ユーザが登録時に設定する。図 3 の例では優先順位が設定されている。この場合において、同一商品グループ設定テーブル 30 に基づいて入札を行うと、まず、優先順位又は優先条件 35 に「1」と設定されている「X 社ビデオカメラ」に入札が行われる。そして、「X 社ビデオカメラ」の落札に失敗すると、優先順位又は優先条件 35 として「2」が設定されている「スーパービデオカメラ」に入札が行われる。落札に成功すると当該商品に対する入札は終了し、落札に失敗すると次順位の優先順位又は優先条件 35 が設定されている商品に対する入札を行っていくものである。また、図 3 の例には示していないが、優先順位又は優先条件 35 には、入札の優先条件を設定することができる。例えば、「入札額」と設定すれば、入札額 33 の安い商品を優先して入札することができる。図 3 の例では、入札額 33 に「58000」と記憶されている「X 社ビデオカメラ」に先ず入札が行われ、落札に失敗した場合には、次に「59000」と設定されている「ビデオカメラ SP1」に入札が行われる。あるいは、優先順位又は優先条件 35 に「終了時刻」と設定した場合には、オークションの終了時刻が最も早い商品を優先して入札を行うこととなる。よって、まず終了時刻 34 に「11/19 18:30」と記憶されている「X 社ビデオカメラ」に入札が行われ、落札に失敗した場合には、次には、終了時刻 34 に「11/21 23:30」と設定されている「スーパービデオカメラ」に入札が行われることとなる。

10

#### 【0027】

入札上限額 36 には、当該商品に対して、ユーザが支払っても良いと考えている上限額を設定する。本発明はネットオークションにおける複数商品に対する入札の方法に特徴があるのであって、出品されている 1 個の商品について行われるオークションの手續自体は、公知のネットオークションと同様である。従って、ここでは背景技術として先に記載した、入札額が更新されても、設定した上限額までは自動的に競り上げて入札を行う方法を採用するものとし、入札上限額 36 に設定した額が、自動的に競り上げを行う上限額として用いられるものとする。なお、ここではテーブルに登録した商品ごとに、相場等を考慮した上で入札上限額を設定する構成としたが、4 つの商品に対して共通の入札上限額 36 を設定するような構成としても良い。

20

#### 【0028】

図 4 に関連商品グループ設定テーブル 40 の例を示す。ユーザは、所望の 1 の商品のみならず、その商品と組み合わせる商品についても、オークションにおいて落札を望む場合がある。例えば、ビデオカメラに対して、それに用いるバッテリー等がこの場合に該当する。かかる場合において、バッテリーは、ビデオカメラを落札、入手できることが明らかになった時点で初めて必要となるものである。従って、ユーザは、ビデオカメラの落札に失敗したにもかかわらず、バッテリーを落札してしまうような事態は回避すべく、ビデオカメラの落札に成功した時点で、バッテリーに対して入札を行うことを試みるはずであるが、かかる作業は従来技術によれば、ユーザの作業負担は小さくない。かかる従属的な関係を有する複数の商品について、ある商品の落札の成否により、順次他の商品に対する入札を行うべく、関連商品グループ設定テーブル 40 は、複数の関連ある商品について、それらの従属的な関係と対応付けて登録するためのテーブルである。関連商品グループ設定テーブル 40 には、商品 No 41、商品 ID 42、商品名 43、入札額 44、終了時刻 45、関連商品 No 46、商品別入札上限額 47 及び合計入札上限額 48 が記憶されている。関連商品グループ設定テーブル 40 への商品の登録については、同一商品グループ設定テーブル 30 と基本的には同様な操作により行われる。

30

40

#### 【0029】

商品 No 41 は、関連商品グループ設定テーブル 40 に登録した商品に対して一意に割り当てられる番号であって、後述する関連商品 No 46 を設定する際に用いられるものである。

#### 【0030】

商品 ID 42、商品名 43、入札額 44、終了時刻 45 に記憶されるものについては、同一商品グループ設定テーブル 30 と同様である。

50

## 【 0 0 3 1 】

関連商品 N o 4 6 は、その商品に対する入札を行う条件となる落札の対象商品の商品 N o 4 1 を設定、記憶するためのものである。図 4 の例においては、「 X 社ビデオカメラ」には「 0 」が設定されているが、ここでは、ユーザが所望した商品が「 X 社ビデオカメラ」であることを示している。即ちユーザは、まず「 X 社ビデオカメラ」の落札に成功した上で、「 X 社ビデオカメラ」に用いる付属品を落札したいと考えているのである。例えば「 X 社バッテリー」の関連商品 N o 4 6 には「 1 」と設定されているが、これは、商品 N o 4 1 「 1 」の「 X 社ビデオカメラ」の落札に成功したことを条件として「 X 社バッテリー」に入札を行うことを意味している。また、「キャリーバッグ」には、関連商品 N o 4 6 として「 3 , 4 」が設定されているが、これは、商品 N o 4 1 が「 3 」である「専用ストラップ」と商品 N o 4 1 が「 4 」である「充電器」との 2 つの商品の落札に成功した時点で、「キャリーバッグ」に対する入札を行うことを意味している。 10

## 【 0 0 3 2 】

商品別入札上限額 4 7 は、同一商品グループ設定テーブル 3 0 の入札上限額 3 6 と同様のものである。

## 【 0 0 3 3 】

合計入札上限額 4 8 は、関連商品グループ設定テーブル 4 0 に登録した複数の商品の入札額の合計に対する上限額を設定、記憶するものである。換言すると、複数の商品を購入するためのユーザの予算を設定するものである。図 4 の例では、合計入札上限額 4 8 には「 7 5 0 0 0 」と設定されている。例えば、関連商品グループ設定テーブル 4 0 に設定した複数の商品のうち、3 個目の商品の落札に成功した時点でその合計額が「 7 0 0 0 0 」円だったような場合に、4 個目の商品のその時点での入札額 4 4 が「 5 5 0 0 」円になってしまっていたような場合に、その合計は既に「 7 5 0 0 0 」円を超えてしまっているため、4 個目の商品には入札せずに、関連商品グループ設定テーブル 4 0 に基づいた入札を終了する。 20

## 【 0 0 3 4 】

図 5 に複合商品グループ設定テーブル 5 0 の例を示す。複合商品グループ設定テーブル 5 0 は、同一商品グループ設定テーブル 3 0 と関連商品グループ設定テーブル 4 0 との両方の特徴を併せ持ったものである。即ち、関連商品グループ設定テーブル 4 0 の 1 つの商品が、同一商品グループ設定テーブルの 1 グループに置き換えられたものである。従って、例えば、グループ N o 5 1 「 1 」に含まれる 4 つの商品「スーパービデオカメラ」、「 X 社ビデオカメラ」、「ビデオカメラ S P 1」、「 Y 社ビデオカメラ」については、図 3 の同一商品グループ設定テーブル 3 0 と同様に処理が行われる。そして、グループ N o 5 1 「 1 」に含まれるいずれかの商品の落札に成功した場合には、グループ N o 5 1 が「 2 」及び「 3 」のグループの入札処理に移行する。複合商品グループ設定テーブル 5 0 には、グループ N o 5 1、商品 I D 5 2、商品名 5 3、入札額 5 4、終了時刻 5 5、優先順位又は優先条件 5 6、関連グループ N o 5 7、商品別入札上限額 5 8 及び合計入札上限額 5 9 が記憶されている。 30

## 【 0 0 3 5 】

グループ N o 5 1 は、同種あるいは類似の複数の商品を登録したグループに対して、一意に割り当てられるものである。後述する関連グループ N o 5 7 では、このグループ N o 5 1 に設定したものをを用いて設定がなされる。 40

## 【 0 0 3 6 】

商品 I D 5 2、商品名 5 3、入札額 5 4、終了時刻 5 5 に記憶されるものについては、同一商品グループ設定テーブル 3 0 と同様である。

## 【 0 0 3 7 】

優先順位又は優先条件 5 6 については、グループごとに設定されることが異なる以外は同一商品グループ設定テーブル 3 0 と同様である。

## 【 0 0 3 8 】

関連グループ N o 5 7 は、関連商品グループ設定テーブル 4 0 における関連商品 N o 4 50

6 が、商品ごとではなくグループ N o 5 1 で識別される商品グループごとに設定されるものに置き換えられたものである。

【 0 0 3 9 】

商品別入札上限額 5 8 は、同一商品グループ設定テーブル 3 0 の入札上限額 3 6 と同様のものである。

【 0 0 4 0 】

合計入札上限額 5 9 は、関連商品グループ設定テーブル 4 0 の合計入札上限額 4 8 と同様のものである。

【 0 0 4 1 】

商品グループ入札プログラム 1 6 は、本発明にかかる処理を実現するためのプログラムであり、大別して商品グループをテーブルに設定するための処理と、設定したテーブルに従って入札をする処理とがある。以下に、図 6 乃至図 9 に示すフローチャートにより商品グループ入札プログラム 1 6 の動作例を説明する。 10

【 0 0 4 2 】

図 6 は、ネットオークションに出品されている多数の商品から、所望の商品を選択し、商品グループ設定テーブル 1 7 に登録する処理の例を説明したフローチャートである。

【 0 0 4 3 】

ステップ S 6 0 1 では、ユーザがユーザ端末 1 1 に所望の商品がネットオークションに出品されているか否かを調べるために、商品名を検索するためのキーワードを入力し、そのキーワードとともに検索要求をサーバ 1 0 に送信する。 20

【 0 0 4 4 】

ステップ S 6 0 2 では、サーバ 1 0 がユーザ端末 1 1 より検索用のキーワードとともに検索要求を受信する。

【 0 0 4 5 】

ステップ S 6 0 3 では、サーバ 1 0 は、受信したキーワードに基づいて商品 D B 2 0 を検索し、検索により得られた結果、即ち当該キーワードを含む商品の情報をユーザに提示すべくユーザ端末 1 1 に送信する。

【 0 0 4 6 】

ステップ S 6 0 4 では、ユーザ端末 1 1 が検索の結果として得られた商品の情報を受信し、ユーザに対して表示する。この表示は送受信プログラム 1 2 により実現されるものであるが、その表示画面例を図 1 0 に示す。画面の左上部に検索のためのキーワードを入力する領域が設けられており、図 1 0 の例では、「ビデオカメラ」と入力されている。そして、検索のボタンをクリックすると、入力したキーワードが送信要求としてサーバに送信される（ステップ S 6 0 1）。そして、検索の結果をサーバ 1 0 から受信すると、その内容を画面に表示する。ここでは、検索の結果として「8mmビデオカメラ」、「スーパービデオカメラ」、「X社ビデオカメラ」、「ビデオカメラSP」及び「Y社ビデオカメラ」が表示されている。 30

【 0 0 4 7 】

ステップ S 6 0 5 では、ユーザ端末 1 1 は、検索結果から商品グループとして登録したい商品のユーザによる選択を受けて、その選択された商品の情報をサーバ 1 0 に送信する。図 1 0 の表示画面の例では、商品グループとして登録したい商品については、該当する「選択」のボタンをクリックした上で、画面右上の「送信」のボタンをクリックすることにより、ステップ S 6 0 5 の処理が実現される。 40

【 0 0 4 8 】

ステップ S 6 0 6 では、サーバ 1 0 が、ステップ S 6 0 5 で選択された商品の情報を受信する。

【 0 0 4 9 】

ステップ S 6 0 7 では、サーバ 1 0 は、ステップ S 6 0 6 で受信した商品に関して、商品 D B 2 0 に登録されている情報を、商品グループ設定テーブル 1 7 に登録する。ここで、同一商品グループ設定テーブル 3 0 に登録するか、関連商品グループ設定テーブル 4 0 50

に登録するか、若しくは複合商品グループ設定テーブル50に登録するかは、ステップS605におけるユーザの操作に依存する。なお、図10の画面例では、複合商品グループ設定テーブル50への登録を想定したものとはなっていないが、他のテーブルへの登録と同様の手段により実現できることは明らかである。

【0050】

ステップS608は、ユーザによるものであるが、さらにキーワードによる商品の検索を行うか否かを判断する。さらに検索を行う場合にはステップS601に戻る。さらに検索を行わない場合には、ステップS609に進む。

【0051】

ステップS609では、サーバ10は、商品グループ設定テーブル17に登録した商品に関する情報を、更なる必要情報の設定をユーザに促すべく、ユーザ端末11に送信する。

【0052】

ステップS610では、ユーザ端末11は、サーバ10により送信された商品の情報を受信し、その内容を一覧に表示する。

【0053】

ステップS611では、ユーザ端末11では、表示した商品についてユーザより必要情報の設定をされ、当該情報をサーバ10に送信する。

【0054】

ステップS610及びステップS611の処理における表示画面の例を図11及び図12に示す。図11は、同一商品グループ設定テーブル30に登録した商品について必要情報を設定するための画面である。ユーザは、サーバ10より送信され、ユーザ端末11に表示された商品の情報に対して、「優先順位を設定してください」の欄と、「入札上限額を設定してください」の欄に、それぞれ設定を行う。前者は同一商品グループ設定テーブル30における優先順位又は優先条件35の設定を行うためのもので、登録した複数の商品に対して入札を行う優先順位を設定する。後者は同一商品グループ設定テーブル30における入札上限額36の設定を行うためのものである。以上の設定した情報はユーザ端末11からサーバ10に送信される。

【0055】

図12は、関連商品グループ設定テーブル40に登録した商品について必要情報を設定するための画面である。ユーザは、サーバ10より送信され、ユーザ端末11に表示された商品の情報に対して、「どの商品を落札したらこの商品に入札しますか」の欄と、「各商品毎又はグループ合計の入札上限額を設定してください」の欄に、それぞれ設定を行う。前者は関連商品グループ設定テーブル40における関連商品No45の設定を行うためのものであり。後者は関連商品グループ設定テーブル40における商品別入札上限額46及び合計入札上限額47を設定するためのものである。以上の設定した情報はユーザ端末11からサーバ10に送信される。

【0056】

ステップS612では、サーバ10は、ユーザ端末11から受信した商品に関して設定する必要情報を所定の商品グループ設定テーブルに登録する。これは上記したように、同一商品グループ設定テーブル30の優先順位又は優先条件35、入札上限額36、関連商品グループ設定テーブル40の関連商品No45、商品別入札上限額46、合計入札上限額47等に、受信した商品に関する各種の必要情報を登録するものである。

【0057】

ステップS613では、サーバ10が、商品グループ設定テーブル17の登録を完了する。即ち、ステップS612までの処理で商品グループ設定テーブル17の各項目について登録を行ってきており、最終的に当該ユーザのオークションへの入札をサポートするためのテーブルとしての登録を完了するのである。

【0058】

次に、図7のフローチャートにより同一商品グループ設定テーブル30による複数商品

への入札の処理の説明をする。ここでは、ユーザ名「AAA」のユーザ端末11より入札の処理が行われる場合で説明する。

【0059】

ステップS701では、ユーザ端末11から所定の情報を受信することにより、同一商品グループ設定テーブル30の設定を完了する。これは、前述した図6のフローチャートの処理である。

【0060】

ステップS702では、ユーザ端末11より、グループ入札開始情報を受信する。このグループ入札開始情報とは、ユーザが、設定を完了した同一商品グループ設定テーブル30に基づいてネットオークションへの入札を開始するための操作をユーザ端末11に対して行うことにより、ユーザ端末11からサーバ10に発せられる情報である。

10

【0061】

ステップS703では、同一商品グループ設定テーブル30から、優先順位又は優先条件35に「1」が設定されている商品に関する情報のうち、商品ID31と入札上限額36を読み取る。この商品は、ユーザが最も落札を望んでいる商品であり、まず最初に入札を行うべきものである。図3の例においては、商品ID31として「V3」、入札上限額36として「65000」を読み取る。

【0062】

ステップS704では、当該商品の現時点におけるオークションの状況を把握すべく、ステップS703で読み取った商品ID31をキーとして、商品DB20の商品ID21を検索して当該商品の入札額23及び終了時刻24を読み取る。図示した例では、商品ID「V3」をキーとして、商品DB20の商品ID21を検索すると、商品名22「X社ビデオカメラ」が検索され、現時点の入札額23が「58000」、終了時刻24が「11/19 18:30」であることを読み取ることができる。

20

【0063】

ステップS705では、現在の時刻がステップS704で読み取った終了時刻24より前で、かつ、ステップS703で読み取った入札上限額36と、ステップS704で読み取った入札額23、若しくは後述するステップS707において他のユーザにより更新された入札額23とを比較し、入札上限額36の方が大きければステップS706に進み、現在時刻が終了時刻24を過ぎている、若しくは入札額23の方が大きければステップS709に進む。図の例においては、現在時刻はまだ終了時刻24より前であるとし、かつ、入札上限額36の方が「65000」で、入札額23の「58000」より大きいのでステップS706に進む。

30

【0064】

ステップS706では、商品DB20に記憶されている当該商品の入札額23を現時点での入札額に入札単位額を加えた額に更新し、最高額入札者25に、当該入札を行っているユーザの名称を登録する。ここで、入札単位額とは当該商品を競り上げていく際の最小単位の額をいい、出品する商品ごとに出品者が任意の額に設定するものとしても良い。このステップS706により、当該ユーザが現時点での最高額入札者になったことを意味する。図の例では、商品DB20の「X社ビデオカメラ」の入札額23に「58000」、最高額入札者25に「BBB」と記憶されているが、本ステップにより、入札額23は「59000」、最高額入札者25は「AAA」と更新される。なお、入札単位額としては「1000」円と設定されていたものとする。

40

【0065】

ステップS707では、当該商品の入札額23が、当該ユーザ以外の他のユーザの入札により更新されたか否かが判定する。更新されなければ、依然、当該ユーザが最高額入札者であることを意味し、ステップS708に進む。更新された場合には、さらに高い額での入札を行い競り上げるか否かを判定するためにステップS705に進む。

【0066】

ステップS708では、ネットオークションが進行し時間の経過によって、当該商品に

50

ついて設定されている終了時刻 2 4 になったか否かを判定する。まだ終了時刻 2 4 になっていないと判定されれば、当該商品についてのネットオークションは続行されるので、他のユーザにより入札額 2 3 が更新されたか否かを判定すべくステップ S 7 0 7 に進む。終了時刻 2 4 になったと判定されれば、当該ユーザが最高額入札者 2 5 のままでオークションが終了し、落札に成功したことを意味するので、処理は終了する。

#### 【 0 0 6 7 】

ステップ S 7 0 9 においては、ステップ S 7 0 8 において、入札しようとした 1 の商品について落札の失敗が確定したことを意味するので、同一商品グループ設定テーブル 3 0 を参照して、未入札の商品があるか否かを判定する。未入札の商品があると判定されれば、ステップ S 7 1 0 に進む。

10

#### 【 0 0 6 8 】

ステップ S 7 1 0 では、次の入札候補の商品に入札すべく、同一商品グループ設定テーブル 3 0 から、当該 1 の商品について、優先順位又は優先条件 3 5 に設定されていた順位の次の順位が設定されている商品に関する情報を読み取る。例えば、図 3 の例において、「X 社ビデオカメラ」の落札に失敗したのであれば、次の順位の「2」が優先順位又は優先条件 3 5 に設定されている「スーパービデオカメラ」に関する情報を読み取る。

#### 【 0 0 6 9 】

図 1 3 に、以上説明した同一商品グループ設定テーブル 3 0 に基づいた入札処理において、オークションの状況をユーザに対して通知するために、ユーザ端末 1 1 に表示される画面の例を示す。表示画面中には、主に図 3 に示した同一商品グループ設定テーブル 3 0 に設定した情報と、そこに設定した商品に関するオークション状況を商品 DB 2 0 から検索して得た情報とが、表示用に整えられて表示されるものとする。画面上部にはユーザ名として、「A A A」と表示され、入札中の商品グループに対する入札上限額 3 6 として「6 5 0 0 0」と設定したことが示されている。また、個々の商品の現在の入札額として、商品 DB の入札額 2 3 から検索し読み取った値が表示される。例えば「X 社ビデオカメラ」の現在の入札額は「5 9 0 0 0」であり、最高額入札者は「A A A」であることが示されている。また、ユーザ「A A A」は、現在、このグループの中の「X 社ビデオカメラ」に入札中であることが、入札中商品の欄に丸印が表示されていることが認識される。

20

#### 【 0 0 7 0 】

次に、図 8 のフローチャートにより関連商品グループ設定テーブル 4 0 による複数商品への入札の処理の説明をする。ここでは、ユーザ名「A A A」のユーザ端末 1 1 より入札の処理が行われる場合で説明する。

30

#### 【 0 0 7 1 】

ステップ S 8 0 1 では、ユーザ端末 1 1 から所定の情報を受信することにより、関連商品グループ設定テーブル 4 0 の設定を完了する。これは、前述した図 6 のフローチャートの処理である。

#### 【 0 0 7 2 】

ステップ S 8 0 2 では、ユーザ端末 1 1 より、グループ入札開始情報を受信する。このグループ入札開始情報とは、ユーザが、設定を完了した関連商品グループ設定テーブル 4 0 に基づいてネットオークションへの入札を開始するための操作をユーザ端末 1 1 に対して行うことにより、ユーザ端末 1 1 からサーバ 1 0 に発せられる情報である。

40

#### 【 0 0 7 3 】

ステップ S 8 0 3 では、関連商品グループ設定テーブル 4 0 から、関連商品 No 4 5 に「0」が設定されている商品に関する情報のうち、少なくとも商品 ID 4 1 と商品別入札上限額 4 6 を読み取る。この商品は、ユーザがまず最初に落札することを望んでいる商品であり、最初に入札を行うべきものである。図 4 の例においては、関連商品 No 4 5 に「0」が設定されている「X 社ビデオカメラ」に関する商品 ID 4 1 として「V 3」、商品別入札上限額 4 6 として「6 5 0 0 0」を読み取る。

#### 【 0 0 7 4 】

ステップ S 8 0 4 では、当該商品の現時点におけるオークションの状況を把握すべく、

50

ステップS 8 0 3で読み取った商品ID 4 1をキーとして、商品DB 2 0の商品ID 2 1を検索して当該商品の入札額2 3及び終了時刻2 4を読み取る。図示した例では、商品ID「V 3」をキーとして、商品DB 2 0の商品ID 2 1を検索すると、商品名2 2「X社ビデオカメラ」が検索され、現時点の入札額2 3が「5 8 0 0 0」、終了時刻2 4が「1 1 / 1 9 1 8 : 3 0」であることを読み取ることができる。

【0 0 7 5】

ステップS 8 0 5では、現在の時刻がステップS 8 0 4で読み取った終了時刻2 4より前で、かつ、ステップS 8 0 3で読み取った入札上限額4 6と、ステップS 8 0 4で読み取った入札額2 3、若しくは後述するステップS 8 0 7において他のユーザにより更新された入札額2 3とを比較し、入札上限額4 6の方が大きければステップS 8 0 6に進み、  
10 現在時刻が終了時刻2 4を過ぎている、若しくは入札額2 3の方が大きければ、当該商品について落札の失敗が確定したことを意味し、処理を終了する。図の例においては、現在時刻はまだ終了時刻2 4より前であるとし、かつ、商品別入札上限額4 6の方が「6 5 0 0 0」で、入札額2 3の「5 8 0 0 0」より大きいのでステップS 8 0 6に進む。

【0 0 7 6】

ステップS 8 0 6では、商品DB 2 0に記憶されている当該商品の入札額2 3を現時点での入札額に入札単位額を加えた額に更新し、最高額入札者2 5に、当該入札を行っているユーザの名称を登録する。このステップS 8 0 6により、当該ユーザが現時点での最高額入札者になったことを意味する。図の例では、商品DB 2 0の「X社ビデオカメラ」の入札額2 3に「5 8 0 0 0」、最高額入札者2 5に「B B B」と記憶されているが、本ステップにより、入札額2 3は「5 9 0 0 0」、最高額入札者2 5は「A A A」と更新される。  
20 なお、入札単位額としては「1 0 0 0」円と設定されていたものとする。

【0 0 7 7】

ステップS 8 0 7では、当該商品の入札額2 3が、当該ユーザ以外の他のユーザの入札により更新されたか否かを判定する。更新されなければ、依然、当該ユーザが最高額入札者であることを意味し、ステップS 8 0 8に進む。更新された場合には、さらに高い額での入札を行い競り上げるか否かを判定するためにステップS 8 0 5に進む。

【0 0 7 8】

ステップS 8 0 8では、ネットオークションが進行し時間の経過によって、当該商品について設定されている終了時刻2 4になったか否かを判定する。まだ終了時刻2 4になっていないと判定されれば、当該商品についてのネットオークションは続行されるので、他のユーザにより入札額2 3が更新されたか否かを判定すべくステップS 8 0 7に進む。終了時刻2 4になったと判定されれば、当該ユーザが最高額入札者2 5のままでオークションが終了し、落札に成功したことを意味するので、当該商品の落札に付随して入札を行うべき商品があるか否かを判定すべくステップS 8 0 9に進む。  
30

【0 0 7 9】

ステップS 8 0 9においては、ステップS 8 0 8において、入札した1の商品について落札の成功が確定したことを意味するので、関連商品グループ設定テーブル4 0を参照して、当該1の商品の落札を条件として、入札を開始すべく設定された商品があるか否かを判定する。そのような商品があると判定されれば、ステップS 8 1 0に進む。そのような商品がなければ、処理を終了する。  
40

【0 0 8 0】

ステップS 8 1 0では、関連商品グループ設定テーブル4 0から、当該1の商品の落札により入札を開始するよう設定されている商品を検索すべく、当該1の商品の商品No 4 8の値が、関連商品No 4 5に設定されている商品に関する情報を読み取る。例えば、図4の例においては、落札に成功した「X社ビデオカメラ」の商品No 4 8は「1」であるので、関連商品No 4 5に「1」が設定されている商品を検索する。すると「X社バッテリー」と「専用ストラップ」が該当するので、それらの商品に関する情報を読み取り、それぞれの商品に対して入札を行うべく、ステップS 8 0 4に進む。

【0 0 8 1】

次に、図 9 のフローチャートにより複合商品グループ設定テーブル 50 による複数商品への入札の処理の説明をする。ここでは、ユーザ名「A A A」のユーザ端末 11 より入札の処理が行われる場合で説明する。

【0082】

ステップ S 901 では、ユーザ端末 11 から所定の情報を受信することにより、複合商品グループ設定テーブル 50 の設定を完了する。これは、前述した図 6 のフローチャートによる処理である。

【0083】

ステップ S 902 では、ユーザ端末 11 より、グループ入札開始情報を受信する。このグループ入札開始情報とは、ユーザが、設定を完了した複合商品グループ設定テーブル 50 に基づいてネットオークションへの入札を開始するための操作をユーザ端末 11 に対して行うことにより、ユーザ端末 11 からサーバ 10 に発せられる情報である。 10

【0084】

ステップ S 903 では、複合商品グループ設定テーブル 50 から、関連グループ No 57 に「0」が設定されているグループ中で優先順位又は優先条件 56 に設定された優先順位が「1」位の商品に関する情報のうち、少なくとも商品 ID 52 と商品別入札上限額 58 を読み取る。この商品は、ユーザが、まず最初に落札することを望んでいる商品であり、最初に入札を行うべきものである。図 5 の例においては、関連グループ No 57 に「0」が設定されているグループの商品中の優先順位又は優先条件 56 に「1」が設定されている「X 社ビデオカメラ」に関する商品 ID 52 として「V3」、商品別入札上限額 58 として「65000」を読み取る。 20

【0085】

ステップ S 904 では、当該商品の現時点におけるオークションの状況を把握すべく、ステップ S 903 で読み取った商品 ID 52 をキーとして、商品 DB 20 の商品 ID 21 を検索して当該商品の入札額 23 及び終了時刻 24 を読み取る。図示した例では、商品 ID「V3」をキーとして、商品 DB 20 の商品 ID 21 を検索すると、商品名 22「X 社ビデオカメラ」が検索され、現時点の入札額 23 が「58000」、終了時刻 24 が「11/19 18:30」であることを読み取ることができる。

【0086】

ステップ S 905 では、現在の時刻がステップ S 904 で読み取った終了時刻 24 より前で、かつ、ステップ S 903 で読み取った商品別入札上限額 58 と、ステップ S 904 で読み取った入札額 23、若しくは後述するステップ S 907 において他のユーザにより更新された入札額 23 とを比較し、商品別入札上限額 58 の方が大きければステップ S 906 に進み、現在時刻が終了時刻 24 を過ぎている、若しくは入札額 23 の方が大きければ、当該商品について落札の失敗が確定したことを意味し、ステップ S 911 に進む。図の例においては、現在時刻はまだ終了時刻 24 より前であるとし、かつ、商品別入札上限額 58 の方が「65000」で、入札額 23 の「58000」より大きいのでステップ S 906 に進む。 30

【0087】

ステップ S 906 では、商品 DB 20 に記憶されている当該商品の入札額 23 を現時点での入札額に入札単位額を加えた額に更新し、最高額入札者 25 に、当該入札を行っているユーザの名称を登録する。このステップ S 906 により、当該ユーザが現時点での最高額入札者になったことを意味する。図の例では、商品 DB 20 の「X 社ビデオカメラ」の入札額 23 に「58000」、最高額入札者 25 に「BBB」と記憶されているが、本ステップにより、入札額 23 は「59000」、最高額入札者 25 は「AAA」と更新される。なお、入札単位額としては「1000」円と設定されていたものとする。 40

【0088】

ステップ S 907 では、当該商品の入札額 23 が、当該ユーザ以外の他のユーザの入札により更新されたか否か判定する。更新されなければ、依然、当該ユーザが最高額入札者であることを意味し、ステップ S 908 に進む。更新された場合には、さらに高い額での 50

入札を行い競り上げるか否かを判定するためにステップ S 9 0 5 に進む。

【 0 0 8 9 】

ステップ S 9 0 8 では、ネットオークションが進行し時間の経過によって、当該商品について設定されている終了時刻 2 4 になったか否かを判定する。まだ終了時刻 2 4 になっていないと判定されれば、当該商品についてのネットオークションは続行されるので、他のユーザにより入札額 2 3 が更新されたか否かを判定すべくステップ S 9 0 7 に進む。終了時刻 2 4 になったと判定されれば、当該ユーザが最高額入札者 2 5 のままでオークションが終了し、落札に成功したことを意味し、ステップ S 9 0 9 に進む。

【 0 0 9 0 】

ステップ S 9 0 9 においては、1 の商品について落札により、その商品に付随して入札 10  
を行うべき商品があるか否か、即ち複合商品グループ設定テーブル 5 0 を参照して、未入  
札の商品グループがあるか否かを判定する。そのような商品グループがあると判定され  
れば、他の商品に対するオークションを続行すべく、ステップ S 9 1 0 に進む。そのような  
商品がなければ、処理を終了する。

【 0 0 9 1 】

ステップ S 9 1 0 では、複合商品グループ設定テーブル 5 0 から、当該 1 の商品の落札  
により入札を開始するよう設定されている商品を調べるために、当該 1 の商品の属する商  
品グループのグループ N o 5 1 の値が、関連グループ N o 5 7 に設定されている商品グル  
ープを検索し、検索された商品グループの中で優先順位又は優先条件 5 6 に優先順位が「  
1 」位に設定されている商品に関する情報を読み取る。例えば、図 5 の例においては、落 20  
札に成功した「 X 社ビデオカメラ」の属する商品グループのグループ N O 5 1 は「 1 」で  
あるので、関連グループ N o 5 7 に「 1 」が設定されている商品グループを検索する。す  
るとグループ N o 5 1 が「 2 」のグループと「 3 」のグループが該当する。グループ N o  
5 1 が「 2 」のグループの優先順位又は優先条件 5 6 には「終了時刻」と設定されており  
、優先して入札すべきは終了時刻 5 5 に「 1 1 / 2 5 1 3 : 0 0 」と最も早い時間が設  
定されている「 X 社バッテリー」が次に入札すべき商品と判定される。また、グループ N  
o 5 1 が「 3 」のグループの優先順位又は優先条件 5 6 を参照して、優先順位として「 1  
」が設定されている「専用ストラップ」も同様に次に入札すべき商品と判定される。以上  
のように「 X 社バッテリー」と「専用ストラップ」が次に入札すべき商品と判定され、そ  
れらの商品に関する情報を複合商品グループ設定テーブル 5 0 から読み取り、それぞれの 30  
商品に対して入札処理を行うべく、それぞれの商品に対してステップ S 9 0 4 以降の処理  
が行われることとなる。

【 0 0 9 2 】

ステップ S 9 1 1 においては、ステップ S 9 0 5 で、入札しようとした 1 の商品につい  
て落札の失敗が確定したことを意味するので、複合商品グループ設定テーブル 5 0 を参照  
して、当該 1 の商品の属するグループに未入札の商品があるか否かを判定する。未入札の商  
品があると判定されれば、ステップ S 9 1 2 に進む。未入札の商品が存在しなければ処理  
を終了する。

【 0 0 9 3 】

ステップ S 9 1 2 では、次の入札候補の商品に入札すべく、複合商品グループ設定テ  
ーブル 5 0 から、当該 1 の商品の属するグループ内で、優先順位又は優先条件 3 5 に設定さ  
れていた順位の次の順位が設定されている商品に関する情報を読み取り、その商品につい  
て入札を行うべくステップ S 9 0 4 に進む。例えば、図 5 の例において、「 X 社ビデオカ  
メラ」の落札に失敗した場合には、「スーパービデオカメラ」に関する情報を読み取って  
、ステップ S 9 0 4 に進むこととなる。

【 0 0 9 4 】

なお、図示はしていないが、サーバ 1 0 及びユーザ端末 1 1 は、 C P U ( Central Proc  
essing Unit ) によって装置全体が制御されているコンピュータである。 C P U には、バ  
スを介して R A M ( Random Access Memory ) 、ハードディスク装置 ( H D D ) 、グラフィ  
ック処理部、入力インタフェース、および通信インタフェース等が接続されている。 50

## 【 0 0 9 5 】

R A M には、C P U に実行させる O S (Operating System) のプログラムやその他のプログラムの少なくとも一部が一時的に格納される。また、R A M には、C P U による処理に必要な各種データが格納される。H D D には、O S やその他のプログラムおよびデータが格納される。

## 【 0 0 9 6 】

グラフィック処理部には、モニタ装置が接続されている。グラフィック処理部は、C P U からの命令に従って入力画面などをモニタ装置に表示させる。入力インタフェースには、キーボードやマウス等が接続されている。入力インタフェースは、キーボードやマウス等から送られてくる信号を、バスを介して C P U に送信する。

10

## 【 0 0 9 7 】

通信インタフェースは、ネットワーク 1 3 に接続されている。通信インタフェースは、ネットワーク 1 3 を介してサーバ 1 0、ユーザ端末 1 1 の間で、相互にデータの送受信を行う。

## 【 0 0 9 8 】

本発明の実施の形態に係るオークション管理プログラム 1 5 及び商品グループ入札プログラム 1 6 を上述のコンピュータで実行させることによって、コンピュータをオークション装置として機能させることができる。

## 【 0 0 9 9 】

また、上記のコンピュータが有すべき機能の処理内容は、コンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録されたプログラムに記述しておくことができる。このプログラムをコンピュータで実行することにより、上記処理がコンピュータで実現できる。コンピュータで読み取り可能な記録媒体としては、磁気記録装置や半導体メモリなどがある。市場に流通させる場合には、C D - R O M (Compact Disk Read Only Memory) やフレキシブルディスクなどの可搬型記録媒体にプログラムを格納して流通させたり、ネットワークを介して接続されたコンピュータの記憶装置に格納しておき、ネットワークを通じて他のコンピュータに転送したりすることもできる。コンピュータで実行する際には、コンピュータ内のハードディスク装置などにプログラムを格納しておき、メインメモリにロードして実行する。

20

## 【 0 1 0 0 】

本発明は、具体的に開示された実施例に限定されるものではなく、特許請求の範囲から逸脱することなく、種々の変形や変更が可能である。

30

## 【 0 1 0 1 】

本発明は、以下に記載する付記のような構成が考えられる。

## 【 0 1 0 2 】

( 付記 1 )

コンピュータが、ネットワークを介して行われるネットオークションにおいて、出品されている商品に対して自動で入札を行うオークション方法であって、

前記コンピュータは、

予め複数の商品を登録し該商品間の所定の関係を設定した商品グループ設定テーブルを参照して、登録されている 1 の商品に対して入札を行う入札ステップと、

40

前記入札した 1 の商品について、落札成功か否かの判定を行う判定ステップと、

前記落札成功か否かの判定の結果に基づいて、入札を終了するか、若しくは前記商品グループ設定テーブルを参照して、前記商品と所定の関係にある商品に対して入札を行う次動作ステップと

を実行することを特徴とするオークション方法。

## 【 0 1 0 3 】

( 付記 2 )

前記商品グループ設定テーブルに登録されている複数の商品には、優先順位が設定されており、

50

前記次動作ステップにおいて、落札成功ならば入札を終了し、落札成功でなければ前記 1 の商品の次に高い優先順位が設定されている商品に対して入札を行うことを特徴とする付記 1 記載のオークション方法。

【0104】

(付記 3)

前記商品グループ設定テーブルに登録されている複数の商品には、該商品に対する入札を行う条件となる落札の対象商品を示す被従属商品が設定されており、

前記次動作ステップにおいて、落札成功でなければ入札を終了し、落札成功ならば前記商品グループ設定テーブルにおいて、前記 1 の商品を前記被従属商品に設定している他の商品に対して入札を行うこと

10

を特徴とする付記 1 記載のオークション方法。

【0105】

(付記 4)

コンピュータに、ネットワークを介して行われるネットオークションにおいて、出品されている商品に対して自動で入札を行わせるためのプログラムであって、

コンピュータに、

予め複数の商品を登録し該商品間の所定の関係を設定した商品グループ設定テーブルを参照して、登録されている 1 の商品に対して入札を行う入札機能と、

前記入札した 1 の商品について、落札成功か否かの判定を行う判定機能と、

前記落札成功か否かの判定の結果に基づいて、前記商品グループ設定テーブルを参照して、前記商品と所定の関係にある商品に対して入札を行う次動作機能と

20

を機能させるためのオークションプログラム。

【0106】

(付記 5)

前記商品グループ設定テーブルに登録されている複数の商品には、優先順位が設定されており、

前記次動作機能は、落札成功ならば入札を終了し、落札成功でなければ前記 1 の商品の次に高い優先順位が設定されている商品に対して入札を行うこと

を特徴とする付記 4 記載のオークションプログラム。

【0107】

30

(付記 6)

前記商品グループ設定テーブルに登録されている複数の商品には、入札を行う条件となる落札の対象商品を示す従属関係が設定されており、

前記次動作機能は、落札成功でなければ入札を終了し、落札成功ならば前記商品グループ設定テーブルにおいて、前記 1 の商品を前記被従属商品に設定している他の商品に対して入札を行うこと

を特徴とする付記 4 記載のオークションプログラム。

【0108】

(付記 7)

ネットワークを介して行われるネットオークションにおいて、出品されている商品に対して自動で入札を行う装置であって、

40

複数の商品を登録し該商品間の所定の関係を設定した商品グループ設定テーブルと、

前記商品グループ設定テーブルを参照して、登録されている 1 の商品に対して入札を行う入札手段と、

前記入札した 1 の商品について、落札成功か否かの判定を行う判定手段と、

前記落札成功か否かの判定の結果に基づいて、前記商品グループ設定テーブルを参照して、前記商品と所定の関係にある商品に対して入札を行う次動作手段と

を備えることを特徴とするオークション装置。

【0109】

(付記 8)

50

前記商品グループ設定テーブルには、登録されている複数の商品について、優先順位が設定されており、

前記次動作手段は、落札成功ならば入札を終了し、落札成功でなければ前記 1 の商品の次に高い優先順位が設定されている商品に対して入札を行うこと

を特徴とする付記 7 記載のオークション装置。

【0110】

(付記 9)

前記商品グループ設定テーブルには、登録されている複数の商品について、該商品に対する入札を行う条件となる落札の対象商品を示す被従属商品が設定されており、

前記次動作手段は、落札成功でなければ入札を終了し、落札成功ならば前記商品グループ設定テーブルにおいて、前記 1 の商品を前記被従属商品に設定している他の商品に対して入札を行うこと

を特徴とする付記 7 記載のオークション装置。

【0111】

(付記 10)

コンピュータが、ネットワークを介して行われるネットオークションにおいて、出品されている商品に対して自動で入札を行うオークション方法であって、

前記コンピュータは、

予め複数の商品を 1 又は複数の商品ごとにグループとして登録し、該グループに属する複数の商品には優先順位が設定されており、該グループには、該グループに対する入札を行う条件となる落札の対象グループを示す被従属グループが設定されている商品グループ設定テーブルを参照して、登録されている 1 の商品に対して入札を行う入札ステップと、

前記入札した 1 の商品について、落札成功か否かの判定を行う判定ステップと、

前記判定ステップにおいて落札成功と判定した場合には、前記 1 の商品の属するグループを被従属グループに設定している他のグループにおいて、最も優先順位の高い商品に対して入札を行い、

落札成功でないと判定した場合には、前記 1 の商品の属するグループに属している他の商品のうち、該 1 の商品の次に高い優先順位が設定されている商品に対して入札を行う次動作ステップと

を実行することを特徴とするオークション方法。

【図面の簡単な説明】

【0112】

【図 1】本発明を実現するための構成図である。

【図 2】商品 DB を図示したものである。

【図 3】同一商品グループ設定テーブルを図示したものである。

【図 4】関連商品グループ設定テーブルを図示したものである。

【図 5】複合商品グループ設定テーブルを図示したものである。

【図 6】商品グループ設定テーブルを設定、登録するためのフローチャートを示したものである。

【図 7】同一商品グループ設定テーブルに基づいて入札を行う際の商品グループ入札プログラムのフローチャートを示したものである。

【図 8】関連商品グループ設定テーブルに基づいて入札を行う際の商品グループ入札プログラムのフローチャートを示したものである。

【図 9】複合商品グループ設定テーブルに基づいて入札を行う際の商品グループ入札プログラムのフローチャートを示したものである。

【図 10】商品グループ設定テーブルの設定を行う際の、商品の検索、登録を行う表示画面の例を図示したものである。

【図 11】同一商品グループ設定テーブルの設定を行う際の表示画面の例を図示したものである。

【図 12】関連商品グループ設定テーブルの設定を行う際の表示画面の例を図示したものである。

10

20

30

40

50

である。

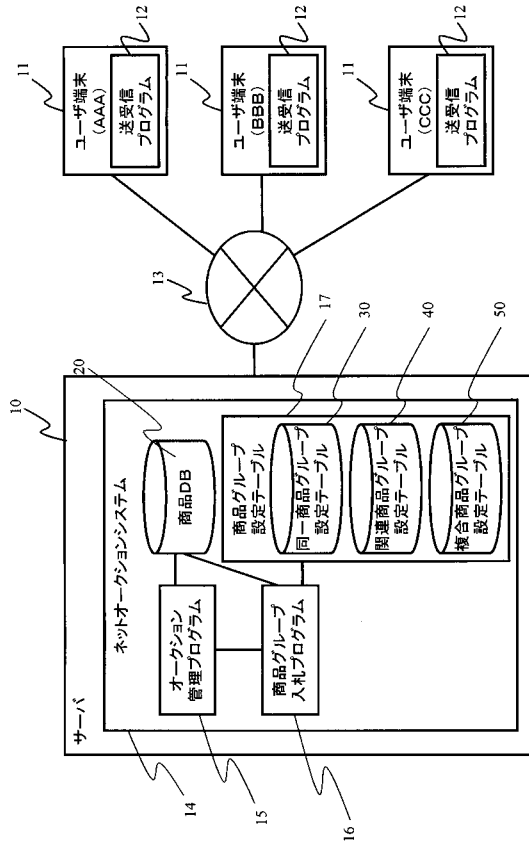
【図 1 3】同一商品グループ設定テーブルに基づいた入札処理中の入札状況をユーザに通知する表示画面の例を図示したものである。

【符号の説明】

【 0 1 1 3 】

1 0	サーバ	
1 1	ユーザ端末	
1 2	送受信プログラム	
1 3	ネットワーク	
1 4	ネットオークションシステム	10
1 5	オークション管理プログラム	
1 6	商品グループ入札プログラム	
1 7	商品グループ設定テーブル	
2 0	商品 D B	
2 1	商品 I D	
2 2	商品名	
2 3	入札額	
2 4	終了時刻	
2 5	最高額入札者	
3 0	同一商品グループ設定テーブル	20
3 1	商品 I D	
3 2	商品名	
3 3	入札額	
3 4	終了時刻	
3 5	優先順位又は優先条件	
3 6	入札上限額	
4 0	関連商品グループ設定テーブル	
4 1	商品 I D	
4 2	商品名	
4 3	入札額	30
4 4	終了時刻	
4 5	関連商品 N o	
4 6	商品別入札上限額	
4 7	合計入札上限額	
4 8	商品 N o	
5 0	複合商品グループ設定テーブル	
5 1	グループ N o	
5 2	商品 I D	
5 3	商品名	
5 4	入札額	40
5 5	終了時刻	
5 6	優先順位又は優先条件	
5 7	関連グループ N o	
5 8	商品別入札上限額	
5 9	合計入札上限額	

【図 1】



【図 3】

商品ID	商品名	入札額	終了時刻	優先順位 又は優先条件	入札 上限額
V1	スーパードビデオカメラ	60000	11/21 23:30	2	65000
V3	X社ビデオカメラ	58000	11/19 18:30	1	60000
V4	ビデオカメラSP1	59000	11/22 14:00	3	60000
V2	Y社ビデオカメラ	63000	11/22 23:00	4	67000

【図 2】

商品ID	商品名	入札額	終了時刻	最高額 入札者
V3	X社ビデオカメラ	58000	11/19 18:30	BBB
V4	ビデオカメラSP1	59000	11/22 14:00	JJJ
V2	Y社ビデオカメラ	63000	11/22 23:00	CCC
B1	X社バッテリー	2300	11/25 13:00	DDD
B2	汎用バッテリー	2200	11/27 21:20	FFF
B3	Z社バッテリー	2400	11/29 23:00	EEE
S1	専用ストラップ	2000	11/26 15:00	GGG
S2	万能ストラップ	1800	11/26 18:40	HHH
C1	充電器	4700	12/04 04:00	-
L1	キャリーバッグ	7500	12/06 15:10	-
L2	カメラバッグA型	8000	12/09 01:15	-
L3	専用ハードケース	7600	12/08 13:20	-
:	:	:	:	:

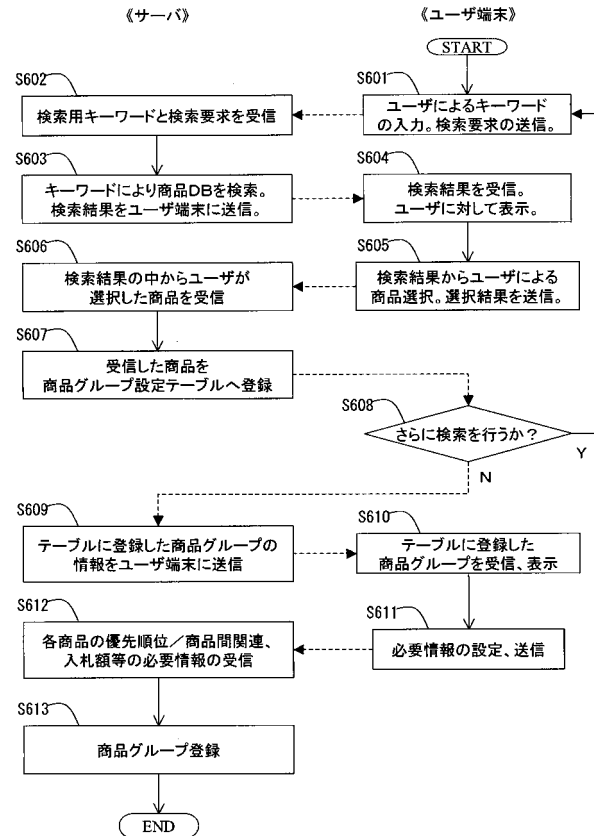
【図 4】

商品No.	商品ID	商品名	入札額	終了時刻	関連 商品No.	商品別 入札上限額	合計 入札上限額
1	V3	X社ビデオカメラ	58000	11/19 18:30	0	65000	75000
2	B1	X社バッテリー	2300	11/25 13:00	1	3000	
3	S1	専用ストラップ	2000	11/26 15:00	1	2500	
4	C1	充電器	4700	12/04 04:00	2	6000	
5	L1	キャリーバッグ	7500	12/06 15:10	3,4	8000	

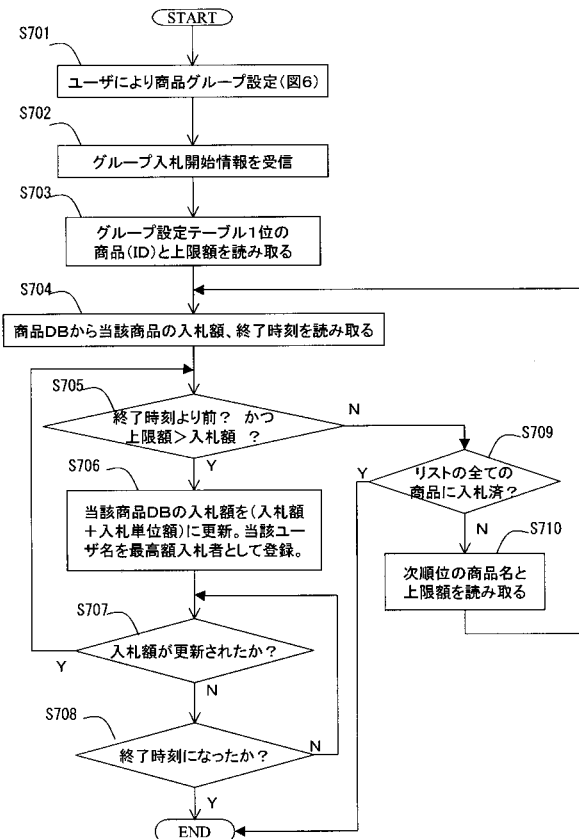
【図 5】

グループNo	商品ID	商品名	入札額	終了時刻	優先順位 又は優先条件	関連 グループNo	商品別 入札上限額	合計 入札上限額
1	V1	スーパービデオカメラ	60000	11/21 23:30	2	0	65000	100000
	V3	X社ビデオカメラ	58000	11/19 18:30	1		60000	
	V4	ビデオカメラSP1	59000	11/22 14:00	3		60000	
	V2	Y社ビデオカメラ	63000	11/22 23:00	4		67000	
2	B1	X社バッテリー	2300	11/25 13:00	終了時刻	1	3000	
	B2	汎用バッテリー	2200	11/27 21:20				
	B3	Z社バッテリー	2400	11/29 23:00				
	S1	専用ストラップ	2000	11/26 15:00				
3	S2	万能ストラップ	1800	11/28 18:40	2	1	3500	
	C1	充電器	4700	12/04 04:00	1		5200	
4	L1	キャリーバッグ	7500	12/08 15:10	入札額	2	-	
	L2	カメラシグナ型	8000	12/09 01:15				
	L3	専用ハードケース	7600	12/08 13:20				

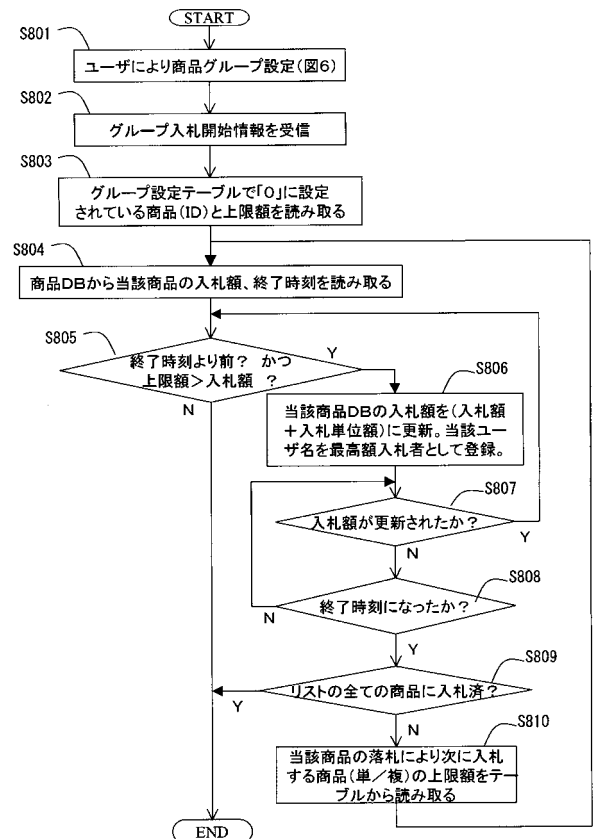
【図 6】



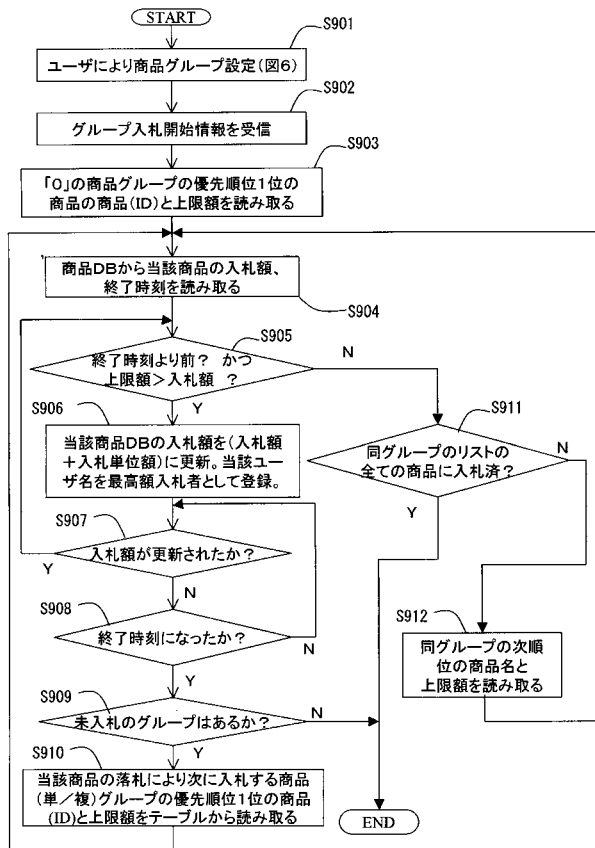
【図 7】



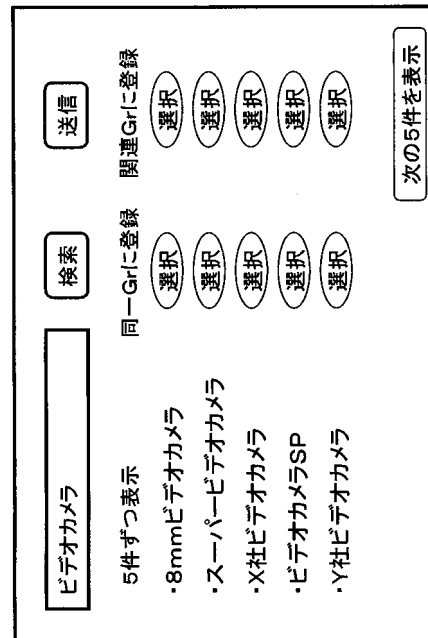
【図 8】



【図 9】



【図 10】



【図 11】

同一商品グループ登録一覧					
商品ID	商品名	入札開始時刻	優先順位を 設定してください	入札上限額を 設定してください	
V1	スーパービデオカメラ	60000 11/21 23:30	1 ② 3 4	65000	
V2	X社ビデオカメラ	58000 11/19 18:30	① 2 3 4	60000	
V4	ビデオカメラSP1	59000 11/22 14:00	1 2 ③ 4	60000	
V2	Y社ビデオカメラ	63000 11/22 23:00	1 2 3 ④	67000	

【図 12】

関連商品グループ登録一覧					
商品ID	商品名	入札開始時刻	終了時刻	どの商品を落札したら この商品に入札しますか	各商品毎又はグループ合計の 入札上限額を設定してください
V3	X社ビデオカメラ	58000	11/19 18:30	◎ 1 2 3 4 5 6	65000
B1	X社バッテリー	2300	11/25 13:00	○ ① 2 3 4 5 6	3000
S1	専用ストラップ	2000	11/26 15:00	○ ① 2 3 4 5 6	2500
C1	充電器	4700	12/04 04:00	○ 1 ② 3 4 5 6	6000
L1	キャリーバッグ	7500	12/06 15:10	○ 1 2 ③ ④ 5 6	8000

【図 13】

ユーザ名 : AAA		現在時刻 11:19 1630	
入札上限額 : 65000			
商品ID	商品名	入札額	最高額入札者
V1	スーパービデオカメラ	60000	BBB
V3	X社ビデオカメラ	59000	AAA
V4	ビデオカメラSP1	59000	CCC
V2	Y社ビデオカメラ	63000	DDD
		終了時刻	優先順位
		11/21 23:30	2
		11/19 18:30	1
		11/22 14:00	3
		11/22 23:00	4
		入札中商品	
		○	

フロントページの続き

(72)発明者 渡辺 光好

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内